



様式第10号（第14条関係）

令和8年6月30日

令和7年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事

住 所 鳥取県米子市新開三丁目1-15

団体名 一般社団法人 animal partner aun

代表者職・氏名 代表理事 森安 由美子

令和7年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和7年度合計 12,000円

2 添付書類

(1) 寄附金活用実績報告書＜様式第10号の2＞

(2) 寄附金活用収支決算書＜様式第10号の3＞

令和7年度寄附金活用実績報告書

事業名	人と犬が集い、安心して暮らせる地域社会「ともに生き、ともに未来を築く。」を創造します。
実施期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。	主に家庭で飼養されている犬を中心として「犬のための暮らしの相談所」として活動しました。 犬との暮らしの専門家としてカウンセリングを行ない、多方面からの視点で解決策を思考し永続的なサポート体制をとり、毎月5日間程度の教室の開催、及び日々の無料相談に対応しました。 【事業項目】 ① 犬との暮らしの無料相談 ② 犬との暮らしの教室運営 ③ 保護犬紹介と仲介 【事業詳細】 ① 日々の無料相談を受け付けて、犬育ての有資格者が相談対応しました。相談者は継続してサポートを望まれることが多いので、カウンセリング内容を記録し管理しました。 ② 犬育てを基本から学べる教室（座学と実践）を開催しました。ドッグトレーナーやホリスティックケアカウンセラー、認定動物看護師等が担当し、お悩み別に犬とのコミュニケーションの取り方や個別トレーニング、健康管理教室、老齢期に向かつての準備等の教室を開催しました。 開催頻度は、1週間に1～2日程度で、1日に平均6家族程度の受け入れがありました。 ③ やむを得ない事情で飼養できない犬の相談対応をしました。できるだけ、終生飼養するようにカウンセリングをして個別に教室等でサポートしました。

	どうしても終生飼養できない場合には、新しい飼い主を探したり、鳥取県が運営する「鳥取わんにゃん家族」サイトに掲載するサポートをしました。
事業実施の 成果・効果 (見込み)	個別の相談者に寄り添い、継続したサポートをしたことにより、相談者へ安心感を与え、教室へも継続して通っていただいています。 犬という動物を理解して、一緒に暮らしていくことの不安が減り、人も犬も安心できる日常を送ることができるようになったとの声をいただいています。 これから犬を家族として迎えようとしている方からも、飼育相談の申し込みがあり、活動が広がっていると感じています。 様々な相談対応を継続することにより、安心できる居場所作りと、結果的に飼育放棄や殺処分を減らすことに繋がっていきます。 今後も、犬（動物）と一緒に安心して暮らせる地域社会を実現するために継続した活動を行っていきます。

様式第10号の3（第14条関係）

令和7年度寄附金活用収支決算書

【収入】

区 分	金額（円）	内 訳
支援寄附金	12,000	
自己資金	9,014,278	
収入 計	9,026,278	

【支出】

区 分	金額（円）	内 訳
仕入	737,726	犬生活用品、等
人件費	5,806,400	給与、社会保険料 厚生費、交通費
事務所賃借料	600,000	家賃
車両費	380,000	社用車維持費
保険料	24,996	賠償責任保険
支払報酬	447,000	税理士社労士報酬
水道光熱費	360,000	電気水道
通信費	132,000	電話、インターネット
衛生管理費	144,000	消毒液、清掃洗剤等
消耗品費	62,000	ゴム手袋、ペットシート、事務用品等
雑費	253,133	ゴミ処分等
繰越金	79,023	（※自己資金の繰越金）
支出 計	9,026,278	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。